

幼兒保育功勞諸氏に深甚の敬意を表す

今回帝國教育會主催の下に開かれた全國幼稚園大會に於て、保育功勞者として表彰せられた諸氏に對して、本誌も亦深甚なる敬意を禁ずることが出来ない。諸氏は幼稚園或は託兒所に於て、幼兒保育の職務に當らること三十年以上の久しきに亙り、或は實際保育に、或は經營に、不斷の熱心を續けられた人々のみであり、實に幼兒保育上の大功績者といふべきである。殊に三十年四十年の昔といへば、今日の保育界と異なり、全く先覺者とし斯界開發の任に立たれたものである。歴史は人によつて充填せらるゝ。此諸氏こそは、即ち我國保育史を輝しくも充填せられたものに他ならぬのである。

幼稚園令公布の年、その記念として同じく帝國教育會主催の下に開かれた全國保育大會に於て、膳眞規、望月くに、田中ひさの三氏が、保育功勞者として表彰せられたことは、吾人の記憶に尙新たなる處である。之れに續いて表彰せられたのが、今回の千葉ひで、山下つや、野口ゆか、河合千代、小向喜美、多田房之輔、服部ノブ、殿村たけ、福本ユキ、宇式かん、進藤つる、橋本よしぢ、須子トミ、折井彌留枝、榎並タケ、伊藤琴子 京口さだの十七氏であり、いづれも我國保育界の大先輩たらざるはない。其

の今日の榮譽ある實に故ありといふべきである。

尙ほ全國多數の幼稚園、託兒所に於て、今回の調査に漏れたる人々も亦必ずしも之れ無きを保し難く、且つ、一年或は數ヶ月の少しの差を以て、遺憾ながら今回の選に入られなかつた方々も極めて多いことであらう。將來も斯くの如き機會ある毎に、續々多數の功勞者諸君を表彰して、われ等が、斯界の恩人に謝するの意を、永く篤くしたいものである。(倉橋生)

今回保育大會に際し、本會よりは金百圓と寫眞費用一切を寄附し、寫眞は表彰せられた方々へ贈呈致しました。右會員諸君へお知らせ致し置きます。